

よくある質問



- 肢体不自由児学級が新設されるのですが、どんな備品をそろえたらよいですか？→①②
- 机はどんなものを用意したらいいのでしょうか？→「2 いす・机について」のシートをご覧ください。
- 教室内の配置はどんな点に気を付ければよいですか？→①②③

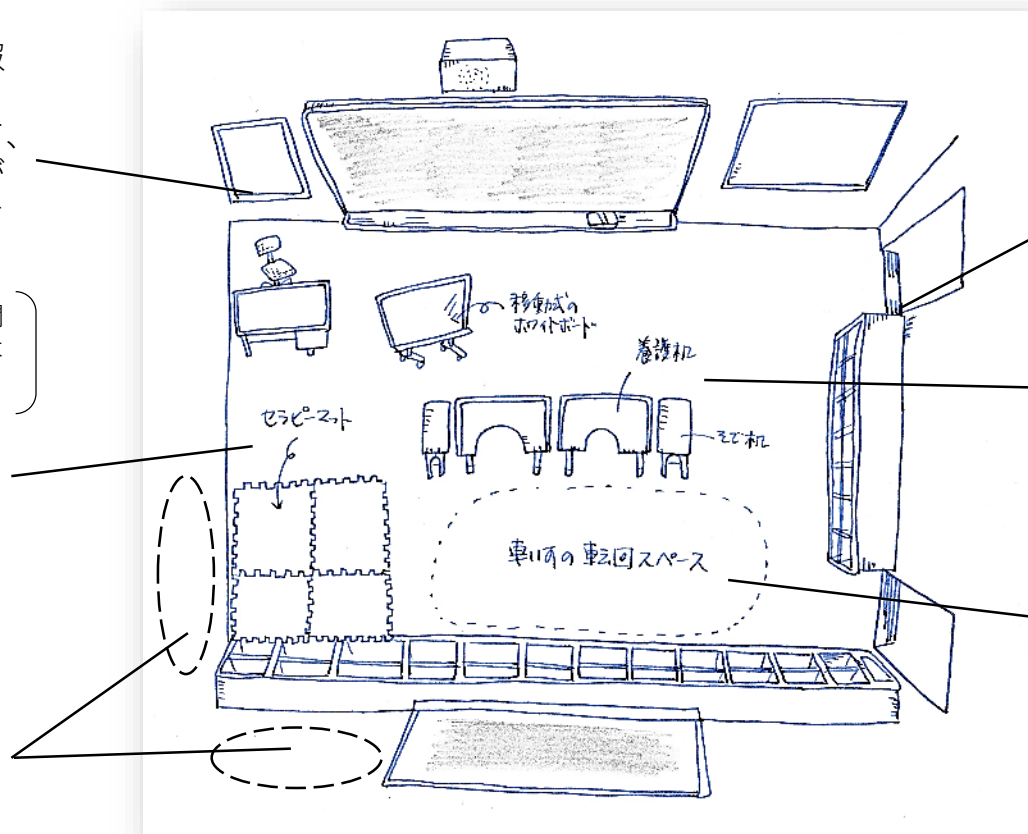
ヒント① 肢体不自由学級の教室環境のイメージ（車いすを使っている児童または生徒2名を想定しました）

視線の移動や視覚情報の処理に困難さのある肢体不自由児にとって、黒板の周りに掲示物があると、板書に注意を向けにくくなります。

特に目立つ学級目標や時間割表などは、黒板周辺には貼らないで。

車いすから降りて体を伸ばしたり、動かしするためのマットです。着替えのスペースにもなります。

掲示物は、教室後面か、後方の側面がおすすです。



出入り口の敷居の段差を埋める小さなスロープ

机やいすについては、別シートを参照してください。

車いすの方向転換には予想以上にスペースが必要です。できるだけ広い空間があると、生活しやすくなります。

ヒント② 備えたい用品のいろいろ

セラピーマット



一日中車いすに乗っているのは体の負担になります。車いすから降りて体を伸ばしたり動かしたりするときに使うマットです。軽くてソフト、滑りにくい素材でできています。水洗いもできて清潔です。立てかけてすき間に収納することもできます。

更衣用カーテン



着替えの時や静かに休みたいときに、天井から吊ってあるカーテンは重宝します。保健室にある衝立でも代用できます（転倒に注意）。

移動式ホワイトボード



黒板は、机から距離があり、視力や視線移動に困難のある肢体不自由児には使いにくいことがあります。また近づく位置が高くて使えません。移動式ホワイトボードだと、近くに提示できて、子どもが書いたりしやすいので便利です。

出入り口の段差を埋める小さなスロープ



2cm位の高さの敷居も車いすの通行には障害になります。ホームセンターで売っていますし、木材で自作している学校もあります。教室の出入りで介助が要らなくなることで、自立した行動を妨げなくて済みます。

そで机

教室にゆとりがあれば、児童机をそで机として置くと便利です。

引出しからの教科書やノート、文房具の出し入れは想像以上に重労働です。



水道の蛇口

車いすに乗ったままで手を洗うのは難作業の一つ。長い蛇口やカランが市販されています。



ヒント③ 安全のための配慮

コード類は、壁に沿わせて

床をかうコード類が車いすでの移動の邪魔になることがあります。また、不安定に歩いている子どもは足元を見ることが苦手で、引っかけてしまうリスクがあります。コード類は壁に沿わせてください。

ロッカーや机の角には要注意

不安定に歩いている子どもの万が一の転倒に備えて、角には保護材を貼ることをお勧めします。

また、段ボールやケースなど低いものを床に置いておくと、つまづく元です。机の下や教室の隅へ。



動線を実体験しておいて下さい

先生が車いすに乗って、実際に教室を移動して、通れないところがないかチェックして下さい。

参考になる資料は・・・

スーパーセラピーマット
(パシフィックサプライ
株式会社HP)



福祉用具のいろいろ

アビリティーズケア
ネットHP
※楽天市場にもページ
があります。



パシフィックサプライ
株式会社HP



学校に届いている教材教具カタログの特別支援教育のページや冊子にも、いろいろな用品が載っています。